

濃密な歴史の気配！

鎌倉時代の草創をなす北条家の氏寺 伊豆の国市

★国指定史跡(願成就院跡) ★国宝:運慶作仏像五軀(阿弥陀如来坐像、不動明王立像、矜羯羅童子像、制吒迦童子像、毘沙門天立像)および塔婆形銘札四枚
★県指定有形文化財:慶派作仏像二軀(阿弥陀如来坐像、地藏菩薩坐像)



画像提供/願成就院

運慶作の国宝仏像五体。右から毘沙門天立像、本尊阿弥陀如来坐像、不動明王立像及び脇侍の矜羯羅(こんがら)童子像(右)と制吒迦(せいたか)童子像。現在、阿弥陀如来坐像は消失した光背・台座を復興中で、3月に完成予定。勇ましい毘沙門天は義時がモデルと言われる。



境内には北条時政公の墓所もある。本堂の本尊阿弥陀如来坐像はこの墓所の真正面に祭られ、常に菩提を弔っている。

この格式ある寺の最大の見どころは、時政が奈良の仏師運慶に作らせた本尊阿弥陀如来坐像と毘沙門天立像、不動明王及び二童子立像の五体の国宝仏だ。運慶が初めて東国武士の依頼で手掛けた仏像群は、前時代にはない豊かな重量感と写実性が特徴。御手の高さまで考え抜かれた

実際、堂塔伽藍は時政、義時、泰時の北条三代にわたって次々に造営され、かつては大池を配した浄土様式の荘厳な寺院として栄華を極めたという。その後二度の兵火で堂塔は失われたものの、国の史跡に指定されている境内一帯は、今も守山を背にした四季の自然美にあふれ、当時の面影をしのぶことができる。

天守君山の山号を冠する願成就院は、世界文化遺産の葦山反射炉から約2.5kmの住宅地に佇む北条家の氏寺『吾妻鏡』には、1189年に北条時政がこの地で旗揚げし、『源頼朝の奥州征伐祈願』のために創建したと記されるが、落成時に読まれた『伊豆堂供養表白』には、『後白河法皇と源頼朝の長寿息災祈願』もうたわれており、公武双方の権威から篤い信仰と支援を受けていたことがわかる。



山門正面の大御堂に五体の国宝仏像が祭られ、裏手の宝物館には、北条泰時が伯母にあたる北条政子の七回忌に奉納したと伝わる「地藏菩薩坐像」(通称「政子地藏」)を安置。

空間構成も美しく、鎌倉彫刻の新様式を確立させた傑作だ。現存するその奇跡に感謝をしながら目を閉じれば、約830年の時を超えて、時政や頼朝の気配も感じられそうだ。今年NHKで放送の大河ドラマ「マゆかりの地」として注目を集める。

副住職の小崎弘慶さんは、「地元の小中高生が郷里の歴史を学びに来ます。文化財に触れることで日本人としての誇りを高め、その魅力を海外に発信してほしい」と語る。鎌倉時代の起点となった地で、新しい時代や生きる力の息吹を感じてみたい。



裏手の守山山頂には展望台があり、富士山の絶景と北条氏の郷が見晴らせる。



「北条三代や源頼朝が拜んだ仏様と対面できます。その特別な空間を堪能してください」と副住職の小崎弘慶さん。

目次

表紙の写真



第1回 絶景・秀景 富士山世界遺産写真コンテスト 絶景しずおか富士山部門 佳作 「紅に染めて」 筒井 章氏 撮影

14

ふじのくにライフスタイルで生きる 杉村 英孝さん

13

ふじのくにブランド プチヴェール®

11

ふじのくにスタイル 「バイ・山の洲(くじ)で中央日本四県が連携!」 『幸せを呼ぶ経済圏』形成へ共同宣言採択

9

ふじのくにルネサンス 静岡の社会健康医学研究が世界を変える!

7

世界クラスの魅力資源 金メダリストに 県民栄誉賞を贈呈!

3

知事対談 復旧の鍵は市場経済主義からの脱却 今こそ文明的転換を 作家・福聚寺住職 玄侑宗久氏

1

世界クラスの美しいふじのくに 天守君山願成就院



茅葺屋根の本堂は、北条義時が父・時政の菩提を弔うために建立。南新御堂の後身として1789年造営。慶派作の本尊阿弥陀如来坐像を祭る。

天守君山 願成就院
伊豆の国市寺家83-1

- 伊豆箱根鉄道 葦山駅
- または伊豆岡岡駅より徒歩約15分
- 東名高速道路・沼津ICまたは新東名高速道路・沼津長泉ICより約25分

【お問い合わせ先】天守君山 願成就院
☎ 055-949-7676
https://ganjoujuin.jp/

【大御堂拝観休館日】毎週火・水曜(祝日は開館)、節分の日、8月15日、7月30日~8月3日、12月24日~31日 令和4年3月1日~11日御本尊阿弥陀如来坐像の光背・台座の設置作業のため休館。
【大御堂拝観時間】10時~16時(15時30分最終受付)
【大御堂拝観料】大人700円、中高生400円、小学生200円